

第5学年 理科 5月26日(火)～

5年生の家庭学習の課題です。調べるための簡単な参考資料を紹介していますが、本やインターネットなど可能な範囲で、各自が資料を見つけて詳しく調べられるといいと思います。

家庭学習 8時間目

気象観測によって得られた情報は、暮らしに便利な様々な気象情報となって、伝えられています。どんな気象情報があるのかを実施に調べてみましょう。また、それらの気象情報が、どんな時に、どんな人に利用されているのかを考えてみましょう。

課題11: いろいろな気象情報を調べてみよう。

気象衛星の雲画像以外にも、たくさんの気象情報を見ることができます。いろいろな気象情報を調べましょう。また、どんな気象情報がどんな人に利用されているのかを考えを書きましょう。

参考資料：気象庁ホームページ www.jma.go.jp/jma/menu/menureport.html

日本気象協会ホームページ <https://tenki.jp/>

気象庁リーフレット 避難

気象庁リーフレット 週間予報

気象庁リーフレット 天気予報の利用

課題12 「明日、高尾山の頂上を目指して、登山を計画しています。どんな気象情報を見て、どんな準備をしておきますか。」実際にでかけるつもりで気象情報を調べて考えましょう。

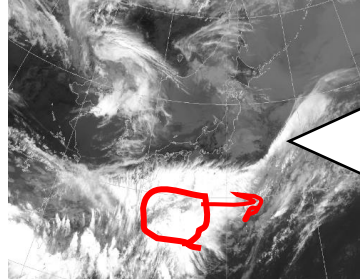
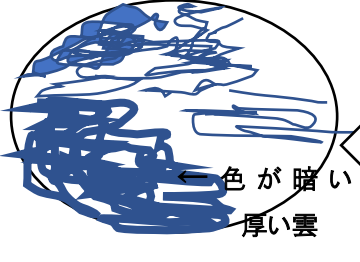
家庭学習9時間目 (+3回の観測で家庭学習10時間目と考えます。)

様々なデータを活用したスーパーコンピュータによる天気予報の的中率は、70%程度だそうです。それに地域の特徴などを考えた気象予報士の経験が加わると85%くらいの的中率になるそうです。皆さんも学んだことを生かして、天気を予想してください。

いよいよ天気予報にチャレンジします。天気予報トレーニングです。今日を含めて4回の天気予報挑戦してください。天気予報をする日は、連続していなくても構いません。気象情報と、全天の観察、天気の変化のきまり(西から東・・・)、昔から伝わる天気予報などの知恵をフル活用して、自分のいるところの明日の天気を予想してみましょう。※1時間でシートの準備と1回目の記入をします。残りの3回を合わせて1時間分の理科の時間として時間を工夫してください。

まず、天気予報トレーニングのためのワークシートを準備しましょう。

ノートなどに下のようなかを準備して、さっそく今日からはじめましょう。

<p>○月○日 () 雲量 8 天気 (くもり) 気温 18℃ 湿度 82% 風 1, 6m</p>	<p>日付・雲量・天気 のほか、自分で わかる情報を記 入します。</p>		
		<p>雲画像は、新聞を切り抜いたり、インターネットをプリントアウトしたりしたものを貼り付けるか、気衛星画像を見ておおよそのスケッチを描きこみます。注目した雲などにしるしをつけます。天気図やそのほかの図を上の部分だけのりをつけて、めくってみられるようにして重ねて貼り付けてもよいと思います。</p>	
 <p>←色が暗い 厚い雲</p>		<p>円を描いて空全体の様子をスケッチします。名前のわかる雲や天気予報のヒントになる雲には、しるしをつけ、名前や説明を書いておきましょう。</p>	
<p>空全体を厚い雲が覆っている。衛星の画像を見ると赤で囲った大きな雲のかたまりが西から、近づいてきている。湿度も高いのでこれから雨が降ると思う。しかし明日になればこのかたまりは東へ進む。明日の朝の天気は曇り。</p>	<p>予想通り、今朝は曇っている。今日星画像では、雲たまりが大きく移動し、西側から西側へ進んでいる。また天気図でも低気圧が遠くまで進んでいる。</p>	<p>集めた情報をもとに、自分なりの天気予報をしましょう。明日の天気とそう予想した根拠を記しておくことが大切です。また、前回の予報を振り返ったり、気づいたことなどを記録しましょう。</p>	

参考資料：気象庁ホームページ www.jma.go.jp/jma/menu/menureport.html

日本気象協会ホームページ <https://tenki.jp/>